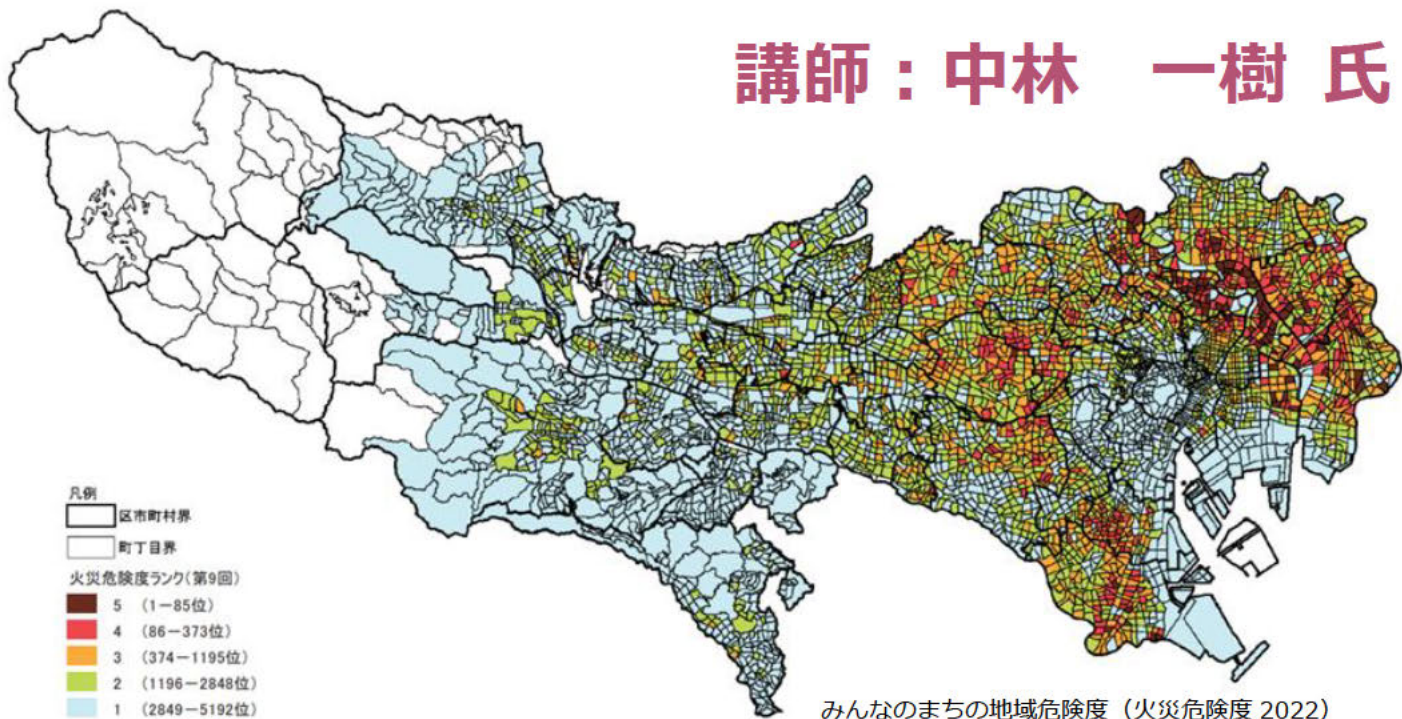


複合災害時代に備える 災害につよい家とは“どんないえ”

講師：中林 一樹 氏



開催日 |

2023年6月17日(土)
15:00~16:45

ZoomによるWEBセミナー

参加費：UIFA JAPON 会員・学生 無料

一般 1,000 円

一般の方にはお申込み後、参加費振込先をお申込み
アドレスにご案内します。

参加方法：下記 URL、QR コードにアクセスし、必要
事項を入力の上お申し込みいただくか、問合せ先メ
ールアドレスへお申し込みください。

URL： <https://forms.gle/uGGKKksyvj57ddDM9>

問合せ先： kyk-25@hb.tp1.jp

* イベント開催数日前にお申込みアドレスに入室用

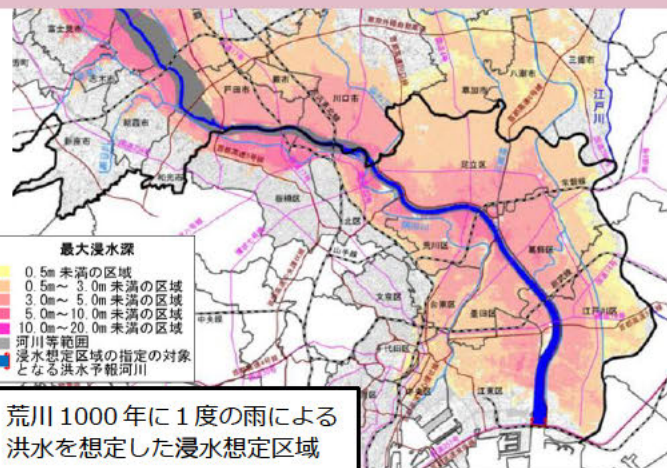
URL を送信いたします。

* 詳細は裏面参照

申込み QR コード



関東大震災から 100 年、21 世紀になって四半世紀
が経とうとしています。地震に風水害と、毎年のように
各地で災害が続いていますが、住んでいる場所の災
害リスクに備えて建てた「家」と、その環境に対応し
て生活している「いえ」が、災害に強い「らし」を可
能にします。特にこれからは、地震にも強く、水害に
も強く、高齢者にも優しい「すまい」が何より大事に
なっています。そうした複合災害に備えた複眼的な「災
害に強いすまい」について、独りよがりのひとり言をさ
せていただきます。(中林一樹)





中林一樹（なかばやし いつき）氏 プロフィール

1947年、福井県生まれ。生後8ヵ月で福井地震に合うも全く記憶なし。小学6年で伊勢湾台風にも雨戸を抑えて通過を待つ。中学3年生で38豪雪積雪3メートルを越冬。建築を福井大学で、都市計画を東京都立大学で学び、同大学地理学科の助手に。2年目に酒田大火の鎮火24時間後に焼け跡に立ち防災都市づくり・災害復興を始める。東京都多摩地域の地震被害想定(1983)時に東京らしい被害として帰宅困難者研究、阪神・淡路大震災で事前復興計画研究、地震での新淀川の堤防沈下から複合災害研究に取りくんで来た。

2016年防災功労者(内閣総理大臣表彰)、2023年日本都市計画学会石川賞(東京の事前復興の取組み) 東京都立大学名誉教授

【お申し込みされる皆様へ注意事項】

下記の内容に同意いただける方のみお申し込みください。

- ・本セミナーは Zoom を使用した、WEB セミナーです。
- ・セミナー開催前日にお送りします WEB セミナー入室用 URL から、Zoom に参加してください。
- ・開催時間 15 分前より入室可能です。入室しましたらカメラを OFF に設定し、音声をミュートにしてください。
- ・当会では Zoom の設定及び端末の利用方法等、機材全般に関するご質問はお受けできません。
- ・インターネット環境・視聴環境に伴う不具合、Zoom の利用により発生する損失・被害等について、当会は一切責任を負いません。
- ・インターネット通信費用は参加者のご負担となります。データ通信量が多くなることが想定されるため、Wi-Fi のご使用を推奨いたします。情報漏洩等のリスク軽減のため、フリーWi-Fi のご使用はお控えください。
- ・セミナーの映像及び音声を録画・録音する行為や、SNS 等で公開する行為は全て禁止といたします。

【お申し込み方法】

- ・下記 URL、QR コードにアクセスし、必要事項を入力の上お申し込みいただくか、下記メールアドレスへ申込書にならない、お申し込みください。

・申し込み→(一般のみ：参加費振込先のご案内→振込確認) 受付完了の配信→開催数日前に入室用 URL 配信→当日参加

【申込書】

お名前	
メールアドレス	
電話番号	
種 別	UIFA JAPON 会員 / 一般 (所属団体：) / 学生
勤務先名 / 学校名	